

海外安全対策情報 2021年10月～12月

在ソロモン日本国大使館

1. 一般犯罪の傾向

2021年度	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
殺人	13	2	3	
性犯罪・レイプ	95	25	40	
強盗・窃盗・空き巣	732	122	634	
暴行	369	119	154	
家庭内暴力	203	68	139	
放火	24		25	
火災	2		10	
交通事故・違反	482		175	
政治事件・賄賂	1		1	
国境事件	4	1		
麻薬事件	38	5	27	
飲酒事件	94	28	89	
銃事件	2		10	
突然死	6		5	
抗議活動			82	
不発弾事件			56	
行方不明			7	
その他	315	1349	254	
TOTAL	2380	1719	1711	0

出典:ROYAL SOLOMON ISLANDS POLICE FORCE

ソロモン警察の話によると、様々な事件の背景には人口の増加、2011年11月の暴動や新型コロナウイルスの経済影響による失業者の犯罪、ソロモン政府の政治への不満を持つ者の犯罪、アルコール依存症者、麻薬依存症者による傷害事件、家庭崩壊及び教育の低さも社会問題になっている模様です。

●在留日本人関連事案

- ・5月22日昼頃、邦人男性が昼食をテイクアウトしようと飲食店の駐車場へ停車している数分間に車上荒らしに遭い、車両清掃道具等を窃盗される案件がありました。
- ・8月2日早朝4時頃、就寝中の在留日本人宅にて強盗事件が発生。本人に怪我は無かったものの、携帯電話・財布・リュックサックの盗難被害にあう事件が発生しています。

2. 社会・治安情報

- 2019年4月に国会議員総選挙及び首相選挙があり、選挙結果に不満を持った一部市民による投石や暴動が一時的に発生しました。警察等の治安当局により鎮静化した。
- 2021年11月、反政府デモの一部が暴徒化し、略奪放火を3日間にかけて行いチャイナタウン全焼、ククム警察署全焼、その他学校等も焼き討ちの被害に遭い、多くの商店から略奪が行われ、死亡者も3名出るなど、最近では最もひどい事件になった。
- 傷害、窃盗、不法侵入、性犯罪などの一般犯罪については、毎日のように新聞報道されていますので、防犯対策を十分に講じて下さい。

3. テロ・爆弾事件発生状況

- ・ 5月9日レンガキキエリアにて不発弾爆発による事故が発生しました。2名の外国人が死亡。
- ・ 10月25日ベティカマエリアにて直接地面に直火で料理をしていた父親とその息子が不発弾爆発を起こし死亡。
- ・ 12月24日テナルエリアで不発弾を改良していた男性二人の内、1名死亡。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

- ・ 日本人が被害者となる事件情報には接していません。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

- ・ 関連情報には接していません。